



巻頭言

「日新電機グループの技術とSDGsへの貢献」 特集に向けて

常務執行役員 川上重男
Kawakami Shigeo

日頃は、当社製品をご愛顧賜りまして厚く御礼申し上げます。

当社では、2021年4月から新しい中長期計画「VISION2025」をスタートしました。

その基本方針は、「日新一新」、「創業の精神への立ち返り」であり、2050年に向けて、現状の安定志向、保守志向を打破し、「挑戦できる風土の再構築」をするための意識改革を図ることです。

VISION2025の戦略は、「成長戦略」、「事業基盤強化」、「SDGs⁽¹⁾」の3つで構成しています。その成長戦略は、①環境配慮製品の拡大、②分散型エネルギー対応、③再生可能エネルギー対応、④DX（デジタルトランスフォーメーション）の製品・事業への適用、⑤新興国環境対応需要のキャッチアップ、⑥EV市場拡大に伴う事業拡大です。また、戦略の中核に「SDGsへの貢献」を据え、上記6つの成長戦略を含めすべての事業において、「持続可能な地球環境と、あらゆる人々が活躍する社会の実現」に貢献することを目指しています。この考え方は、当社グループが100年を超える事業継承⁽²⁾で積み上げてきた普遍的な企業理念である、「日新電機グループは、社会と産業の基盤を支える企業活動を通じて、環境と調和し、活力ある社会の実現に貢献します」に通じる考え方です。そして、次の100年もこの企業理念を変えず歩みを進めて参ります。

また、当社は2050年カーボンニュートラル達成に向けたファーストステップとして、2021年6月にSBTi⁽³⁾から、パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準）と整合した、非常に意欲的な温室効果ガス排出量削減における長期目標の認証を取得⁽⁴⁾しました。この目標達成に向け、環境配慮製品開発や環境配慮の生産体制を再構築し、当社グループを挙げた活動・取組みを展開して参ります。

本号は、「日新電機グループの技術とSDGsへの貢献」として、当社の活動の一例をご紹介します。“持続可能な社会の実現”に向け、山積する社会課題に対して、事業を通じて解決策を提案する当社の活動に、ご理解賜れば幸甚です。

(1) Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標のこと。

2015年9月の国連サミットで採択の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されている。

(2) 当社は2017年に創立100年を迎えた。

(3) 国際的な環境団体（SBTi：Science Based Targets initiative）

(4) SBTiにより、科学的根拠に基づいた目標として承認され、認定を取得した。

・Scope1+2：2018年度基準で、2030年度までに35%削減する。

・Scope3：2018年度基準で、2030年度までに30%削減する。